

## 令和2年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

### 1 事業の成果

#### (1) 心理社会的支援活動事業

##### (ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、発症部位別の大腸がんサポートグループ、また男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た柏サポートグループと大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間92回開催し、延べ358人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。サポートグループを開催するにあたり、参加者のマスク着用、入室時の検温とアルコール手指消毒の徹底、窓開けによる常時換気と空間清浄機の併用による感染症対策を講じ、開催時間を30分短縮、1回60分として提供した。

なお、2020年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和2年4月7日（火）～5月25日（月）／令和3年1月8日（金）～3月21日（日）の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間のFace-to-Faceでの事業を中止し、代替策としてZoomを活用した「オンラインカフェ」を10月31日（土）から毎月1回、年間8回開催し、延べ46人のがん患者にオンラインでの対話機会を提供した。

##### (イ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族11人に対して対面／電話でアドバイスを行った。

なお、2020年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和2年4月7日（火）～5月25日（月）／令和3年1月8日（金）～3月21日（日）の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間の医療相談は無料の電話相談として提供した。

#### (2) 技術的支援活動事業

##### (ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①自律訓練法講座を月2回、計7回開催、延べ11人が参加、②ヨガ講座を月2回、計11回開催、延べ51人が参加、③アロマテラピー講座は中止、④コーラス講座（いきのちから合唱団）を月2回、計11回開催、延べ125人が参加、3種の講座合計29回開催、延べ187人のがん患者及び家族に対し提供した。

なお、2020年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和2年4月7日（火）～5月25日（月）／令和3年1月8日（金）～3月21日（日）の期間に緊急事態宣

言が発出されたため、同期間の Face-to-Face での事業を中止し、公式 YouTube チャンネルを開設、「おうちで簡単ヨガ」としてヨガ療法などを配信した。

### (3) 普及啓発活動事業

#### (ア) 講演会

がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした第 18 回ペイシェント・アクティブ・フォーラムを令和 2 年 9 月 6 日（日）によみうり大手町ホール（東京）にて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。代替案として講演を録画収録し 11 月 28 日（土）から公式ホームページでオンデマンド無料配信し、311 回視聴された。今回は「がん患者からサバイバー、そしてがんを体験した生活者へ～コロナ禍にどう対処し、アフターコロナの時代をどう生きるか!?!」をテーマに、[ ] に「新型コロナウイルス感染症流行下での心のケア」と題して、帝京大学医学部内科学講座（腫瘍内科）[ ] に「新型コロナウイルス・インフルエンザ～がん治療と感染症対策に、必要なこと」と題して、それぞれ講演いただいた。その後、パネルディスカッションを行った。

#### (イ) 市民向けセミナー：第10回がんを学ぶセミナーTOKYO

関東圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的にセミナーを令和 2 年 7 月 6 日（土）にがんサポートコミュニティ（東京）にて開催、新型コロナウイルス感染症対策として常時換気、空間清浄機の設置、人数制限をしたなかで、がん患者及び家族 6 人とスタッフ 3 人の計 9 人が参加した。社会福祉法人晴山会鎌取苑の [ ] を講師に招いて「おいしく食べる機能の障害」をテーマに講演いただいた。

#### (ウ) 令和2年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート2020

豊島区と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和 2 年度豊島区がん対策推進特別講演会」とがんサポートコミュニティ主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート 2020」をジョイントさせ、令和 2 年 12 月 21 日（月）に南大塚ホール（東京）にて池袋保健所の指導のもと感染症対策を講じて開催、87 人が参加した。令和 2 年度豊島区がん対策推進特別講演会では講師に [ ] に「がんと新型コロナウイルス感染症～アフターコロナの時代をどう生きるか!?!」をテーマに講演いただいた。合唱団いきのちからコンサート 2020 ではがん体験者 14 人がソプラノ／アルト／テノール／バスに分かれ、翼をください／心の瞳／パプリカ／クリスマス・メドレー／ふるさと／いのちの歌の全 6 曲を合唱した。加えてイベントを録画収録し令和 3 年 3 月 12 日（金）から公式ホームページでオンデマンド無料配信し、282 回視聴された。

#### (エ) 教育研修事業

将来サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催で令和 3 年 1 月 9 日（土）～10 日（日）にエーザイ東京コミュニケーションオフィス（東京）で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

#### (オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに 500 円ずつ寄付するチャリティマラソンとして第 10 回大阪マラソンが令和 2 年 11 月 29 日（日）に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で

中止となった。併せて11月27日(金)～28日(土)にインテック大阪で開催予定だったEXPO2020も中止となり、ランナー3万人2,000人を含む5万5,000人に対する「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動も実施できなかった。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。9回開催し、9組が参加した。

(キ) がんサポ通信

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために年2回発行、1回あたり2,000部を配布予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響でがん患者とその家族との交流機会と情報発信の頻度を高くするためにNews Letterとして毎月1回発行、配布した。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) 患者交流事業

①第4回とわの会：令和2年10月17日(土)に事務所においてサポート事業に参加していた患者が亡くなり、その遺族に対するプログラムとして第4回とわの会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(イ) その他

第一三共と劇団四季が主催する「家族のきずなシアター」に後援し、がん患者及び家族125組500人を招待し劇団四季ミュージカル「ライオンキング」を令和2年11月8日(日)に四季劇場[夏](東京)にて観劇予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 21,566 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業：患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを新型コロナウイルス感染症対策で時短して毎月1～2回運営。	日曜祝祭日を除く 毎日	事務所	11人	がん患者・家族	404人	12,259
	新型コロナウイルス感染症対策としてZoomを活用した「オンラインカフェ」を実施。	毎月1回	事務所	6人	がん患者	46人	
	医療相談事業：患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面/電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2人	がん患者・家族	11人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業：患者及び家族に対するヨガの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則 第1・3 木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	51人	2,693

技術的 支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	原則 第3 金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	0人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法は新型コロナウイルス感染症対策を講じて指導を実施。	原則 第1・2 火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	11人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコーラスの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則 第1・3 月曜日	南大塚地域 文化創造館	4人	がん患者・家族	125人	
	新型コロナウイルス感染症対策としてYouTubeを活用した「おうちで簡単ヨーガ」としてヨーガ講座の動画を配信。	随時	事務所	3人	がん患者・家族	3,432人	
	新型コロナウイルス感染症対策としてYouTubeを活用した音楽療法講座の動画を配信。	随時	事務所	3人	がん患者・家族	1,124人	
普及啓発 活動事業	市民啓発を目的とした講演会「第18回ペイシェント・アクティブ・フォーラム」は新型コロナウイルス感染症の営業で中止。	9月6日	よみうり 大手町 ホール	0人	がんに関 心のある 一般市民	0人	4,796
	新型コロナウイルス感染症として市民啓発を目的とした講演会「第18回ペイシェント・アクティブ・フォーラム」はオンデマンド無料配信。	11月28日 から配信 随時	事務所	6人	がんに関 心のある 一般市民	311人	
	市民啓発を目的とした「第10回がんを学ぶセミナーTOKYO」を新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して開催。	7月6日	事務所	3人	関東圏の がん患者・家族、 市民	6人	
	「令和2年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」を新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して開催。	12月21日	南大塚ホール	12人	がん患者・家族、 市民	87人	
	「令和2年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」をオンデマンド無料配信。	3月12日 から配信 随時	事務所	4人	がん患者・家族、 市民	282人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	1月9日 ~10日	エーザイ 東京コミュニ ケーション オフィス	0人	関東圏の がん専門 相談員	0人	

普及啓発活動事業	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	11月27日 ～28日	インテックス 大阪	0人	市民	0人	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則として金曜日	事務所	4人	がん患者・家族	9人	
	広く市民に対する活動紹介として「がんサポ通信」発行は新型コロナウイルス感染症の影響で中止、「News Letter」を発行。	毎月1日	事務所	10人	がん患者・家族、 市民	4,000人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者・家族、 市民	920人	
	がん患者及び家族に対して関係図書を頒布。	随時	事務所	2人	がん患者・家族	300人	
調査研究及び情報交換事業	患者交流事業：がん患者の遺族と交流する「とわの会」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	10月17日	事務所	0人	遺族	0人	1,818
	その他：患者及び家族に対し家族の絆を深める「家族のきずなシアター」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	11月8日	四季劇場 [夏]	0人	がん患者・家族	0人	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【           】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				

令和2年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
<b>(A) 経常収益</b>		
1 受取会費		8,190,000
正会員受取会費	130,000	
賛助会員受取会費	8,060,000	
2 受取寄附金		18,122,159
受取寄附金	18,122,159	
3 受取助成金等		686,000
受取協賛金	500,000	
受取受託金	186,000	
4 事業収益		327,500
心理社会的支援活動事業収益	75,000	
技術的支援活動事業収益	252,500	
5 その他の収益		3,232,438
受取利息	440	
雑収入	3,231,998	
<b>経常収益計</b>		<b>30,558,097</b>
<b>(B) 経常費用</b>		
1 事業費		13,786,446
(1) 人件費		
給料手当	7,835,557	
特別手当	1,740,000	
法定福利費	1,193,165	
中退共保険料	448,000	
サポーター費用	1,641,500	
外注費	928,224	
(2) その他経費		7,779,557
催事費用	17,280	
広報活動費	1,431,540	
旅費交通費	779,020	
通信費	531,560	
消耗品費	419,349	
事務用品費	387,073	
新聞図書費	132,000	
会議費	1,512	
家賃	3,326,400	
水道光熱費	170,578	
会場使用料	371,570	
支払手数料	96,102	
減価償却費	115,573	
<b>事業費計</b>		<b>21,566,003</b>
2 管理費		1,756,600
(1) 人件費		
給料手当	1,227,600	
特別手当	325,000	
福利厚生費	180,000	
中退共保険料	24,000	
(2) その他経費		1,477,757
旅費交通費	93,120	
交際費	2,106	
通信費	13,571	
租税公課	2,900	
消耗品費	46,462	
事務用品費	137,953	
諸会費	10,000	
会議費	4,920	
家賃	369,600	
水道光熱費	18,953	
リース料	741,312	
支払手数料	4,730	
減価償却費	32,130	
<b>管理費計</b>		<b>3,234,357</b>
<b>経常費用計</b>		<b>24,800,360</b>
<b>当期経常増減額 (A) - (B) . . . ①</b>		<b>5,757,737</b>
<b>(C) 経常外収益</b>		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>
<b>(D) 経常外費用</b>		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>
<b>当期経常外増減額 (C) - (D) . . . ②</b>		<b>0</b>
<b>税引前当期正味財産増減額 ①+② . . . ③</b>		<b>5,757,737</b>
法人税、住民税及び事業税 . . . ④		
前期繰越正味財産額 . . . ⑤		50,649,584
<b>次期繰越正味財産額 ③-④+⑤</b>		<b>56,407,321</b>

## 令和2年度 貸借対照表

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>		
1	流動資産		
	現金預金	55,544,636	55,544,636
	流動資産合計・・・①		55,544,636
2	固定資産		
	(1)有形固定資産 工具器具備品	382,328	382,328
	(2)無形固定資産 電話加入権	42,840	42,840
	(3)投資その他の資産 敷金	562,800	562,800
	固定資産合計・・・②		987,968
<b>【A】</b>	<b>資産合計 ①+②</b>		56,532,604
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>		
1	流動負債		
	預り金	125,283	125,283
	流動負債合計・・・③		125,283
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		125,283
<b>【B-2】</b>	<b>正味財産の部</b>		
	前期繰越正味財産額	50,649,584	
	当期正味財産増減額	5,757,737	
	正味財産合計		56,407,321
<b>【B】</b>	<b>負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】</b>		56,532,604

## 令和2年度 計算書類の注記

## 事業報告用

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

## 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

## (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

## (2) 固定資産の減価償却の方法

工具器具備品の減価償却は定額法によっています。

## (3) 引当金の計上基準

該当なし

## (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動報告書に計上しています。

また計上額の算定方法は「3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

## (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

## 2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	心理社会的 支援活動事業	技術的支援 活動事業	普及啓発 活動事業	調査研究及び 情報交換事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>							
1. 受取会費					0	130,000	130,000
正会員会費						806,000	8,060,000
賛助会員会費	4,352,400	725,400	1,450,800	725,400	7,254,000		
2. 受取寄附金	9,785,967	1,630,994	3,261,988	1,630,994	16,309,943	1,812,216	18,122,159
3. 受取協賛金			500,000		500,000	0	500,000
受取受託金			186,000		186,000	0	186,000
4 事業収益	75,000	252,500			327,500	0	327,500
5 その他収益	1,745,278	290,880	581,760	290,880	2,908,798	323,640	3,232,438
経常収益計	15,958,645	2,899,774	5,980,548	2,647,274	27,486,241	3,071,856	30,558,097
<b>II 経常費用</b>							
(1) 人件費							
給料手当	4,701,333	783,556	1,567,112	783,556	7,835,557	1,227,600	9,063,157
特別手当	1,044,000	174,000	348,000	174,000	1,740,000	325,000	2,065,000
法定福利費	715,897	119,317	238,634	119,317	1,193,165	0	1,193,165
福利厚生費	0	0	0	0	0	180,000	180,000
外注費	556,936	92,822	185,644	92,822	928,224	0	928,224
中退共保険料	268,800	44,800	89,600	44,800	448,000	24,000	472,000
サポーター費用	879,500	747,000	15,000	0	1,641,500	0	1,641,500
人件費計	8,166,466	1,961,495	2,443,990	1,214,495	13,786,446	1,756,600	15,543,046
(2) その他経費							
催事費用			17,280		17,280	0	17,280
広報活動費用	420,684	70,114	870,628	70,114	1,431,540	0	1,431,540
旅費交通費	474,766	143,161	145,382	15,711	779,020	93,120	872,140
交際接待費					0	2,106	2,106
通信費	318,936	53,156	106,312	53,156	531,560	13,571	545,131
租税公課					0	2,900	2,900
消耗品費	253,172	42,649	82,352	41,176	419,349	46,462	465,811
事務用品費	232,245	38,707	77,414	38,707	387,073	137,953	525,026
図書費	79,200	13,200	26,400	13,200	132,000	0	132,000
会議費			1,512		1,512	4,920	6,432
諸会費					0	10,000	10,000
家賃	1,995,840	332,640	665,280	332,640	3,326,400	369,600	3,696,000
水道光熱費	102,346	17,058	34,116	17,058	170,578	18,953	189,531
リース料					0	741,312	741,312
会場使用料	88,320		283,250		371,570	0	371,570
支払手数料	57,662	9,610	19,220	9,610	96,102	4,730	100,832
減価償却費	69,345	11,557	23,114	11,557	115,573	32,130	147,703
その他経費計	4,092,516	731,852	2,352,260	602,929	7,779,557	1,477,757	9,257,314
経常費用計	12,258,982	2,693,347	4,796,250	1,817,424	21,566,003	3,234,357	24,800,360
当期経常増減額	3,699,663	206,427	1,184,298	829,850	5,920,238	-162,501	5,757,737



3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。  
当法人の正味財産は 0 円ですが、その 0 円は、下記のように用途が特定されています。  
したがって用途が制約されていない正味財産は 0 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計	0	0	0	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	530,031			530,031	△147,703	382,328
無形固定資産						
電話加入権	42,840			42,840		42,840
投資その他の資産						
敷金	562,800			562,800		562,800
合計	1,135,671	0	0	1,135,671	△147,703	987,968

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

・ 収入に関して、年間登録料、賛助会費及び寄付金については使用割合によって、事業費(90%)、管理費(10%)に按分した。さらに事業費について心理社会的支援活動事業(60%)、技術的支援活動事業(10%)、普及啓発活動事業(20%)、調査研究及び情報交換事業(10%)に按分した。なお、収入のうち正会員費については100%管理費とした。

・ 支出に関して、事業部門に直接関係する経費はその事業部門に配賦し、共通については以下の基準で按分した。地代家賃及び水道光熱費については、建物面積比によって事業費(90%)、管理費(10%)に按分した。また事業内の人件費及び共通の経費については、使用割合によって心理社会的支援活動事業(60%)、技術的支援活動事業(10%)、普及啓発活動事業(20%)、調査研究及び情報交換事業(10%)に按分した。

・ その他の事業に係る資産の状況

該当なし

## 令和2年度 財産目録

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

科	目	金額	小計	合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>			
1	<b>流動資産</b>			
	現金預金			
	手元現金	146,503		
	みずほ銀行 普通預金 赤坂支店	6,743,894		
	みずほ銀行 普通預金 神谷町支店	15,877,605		
	三井住友銀行 普通預金 赤坂支店	13,045,501		
	三菱東京UFJ銀行 普通預金 虎ノ門支店	18,133,591		
	郵便振替口座	1,597,542	55,544,636	
	<b>流動資産合計・・・①</b>			<b>55,544,636</b>
2	<b>固定資産</b>			
	(1) 有形固定資産			
	工具器具備品			
	空気清浄機	71,789		
	パソコン	310,539	382,328	
	(2) 無形固定資産			
	電話加入権			
	虎ノ門ガーデン事務所	42,840	42,840	
	(3) 投資その他の資産			
	敷金			
	虎ノ門ガーデン事務所	562,800	562,800	
	<b>固定資産合計・・・②</b>			<b>987,968</b>
	<b>【A】資産合計 ①+②</b>			<b>56,532,604</b>
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>			
1	<b>流動負債</b>			
	預り金			
	源泉徴収税	59,371		
	社会保険料	65,912		
			125,283	
	<b>流動負債合計・・・③</b>			<b>125,283</b>
2	<b>固定負債</b>			
	<b>固定負債合計・・・④</b>			<b>0</b>
	<b>【B-1】負債合計 ③+④</b>			<b>125,283</b>
	<b>【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】</b>			<b>56,407,321</b>

1

## 令和2年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

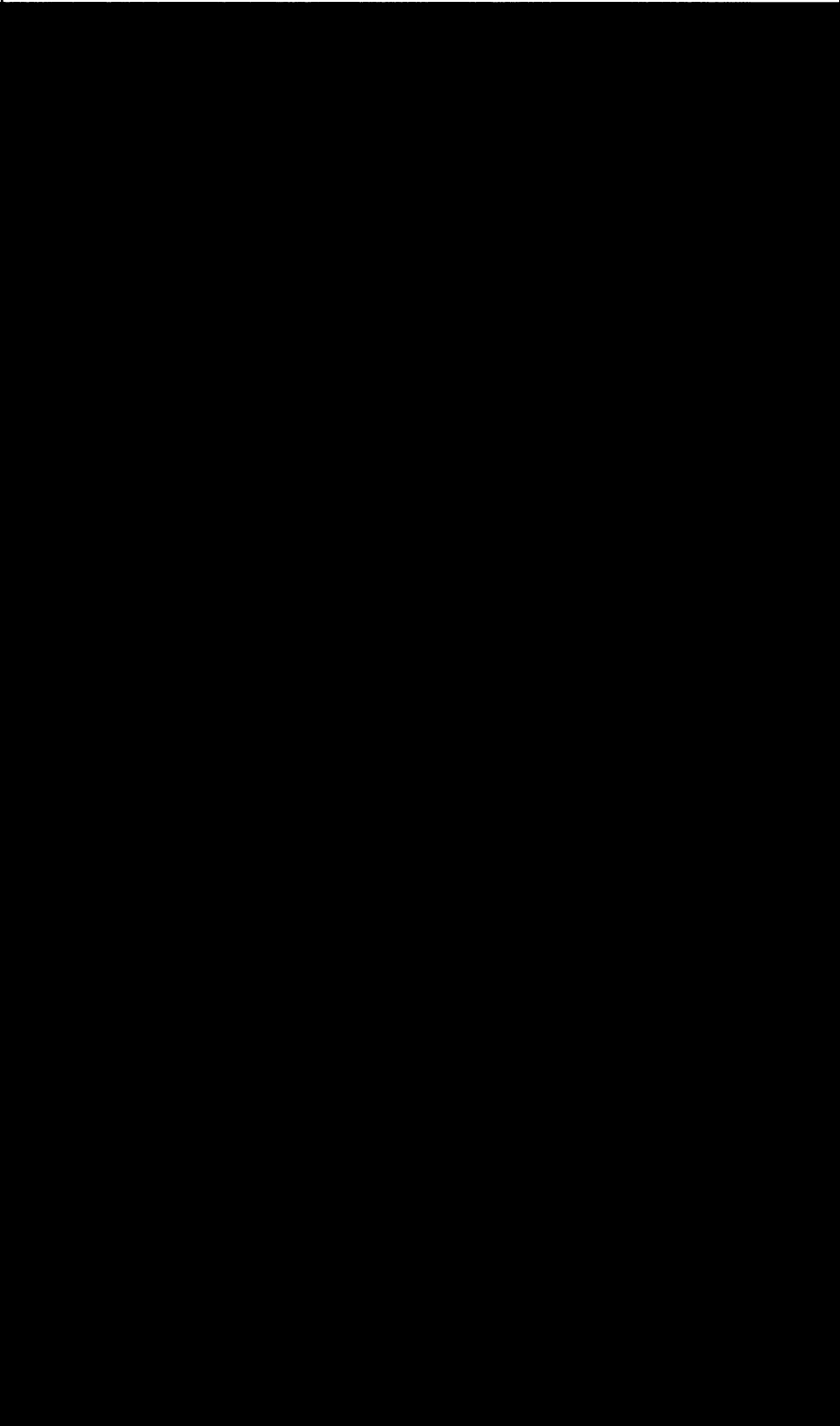
	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	アヅミ カキキ	[REDACTED]	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		渥美 隆之			
2	○理事・監事	エンドウ キミサ		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		遠藤 公久			
3	○理事・監事	ウエノ ヒサ		令和2年4月1日 ～ 令和2年7月21.日	年 月 日 ～ 年 月 日
		上野 久男			
4	○理事・監事	タカ ヨシヒデ		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田中 義英			
5	○理事・監事	オク ヒサ		令和2年4月1日 ～ 令和3年1月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		奥 寿夫			
6	○理事・監事	ナカガミ エコ	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		中神 百合子			
7	○理事・監事	キムラ シウ	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		木村 周			
8	○理事・監事	オクハラ ヒデタカ	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		奥原 秀盛			
9	○理事・監事	ナカガワ ノブユキ	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		中川 信幸			
10	○理事・監事	カタヤマ カズヒロ	令和2年7月22日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		片山 和宏			

事業報告用

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
11	理事・ <u>監事</u>	キノ ヲオ		令和2年4月1日	年 月 日
		清野 吉雄		～	～
12	理事・ <u>監事</u>	エダ タミ		令和2年4月1日	年 月 日
		江田 巧		～	～
13	理事・ <u>監事</u>	マツムラ ユキオ		令和2年4月1日	年 月 日
		松村 行雄		～	～
14	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				～	～
15	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				～	～
16	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
17	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
18	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
19	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
20	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

	氏名	住所又は居所
1	渥美隆之	
2	片山和宏	
3	田中義英	
4	遠藤公久	
5	中神百合子	
6	奥原秀盛	
7	中川信幸	
8	大井賢一	
9	田中マユミ	
10	佐藤衣	
11	内山由美	
12	清野吉雄	

